

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	良く なっている  やや良く なっている	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ボーナスが出たため人の動きが増えてきている。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・11月の終わりから12月にかけて、来客数、売上ともに良くなっている。
		一般小売店[印 章](経営者)	お客様の様子	・時代の流れとともに個人で年賀状を印刷する人が増えたため注文が減っているが、今月は団塊世代の経営者交代に伴うゴム印注文が多い。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・前年同月比で売上69%、来客数72%と、過去最悪だった前月より若干上向いている。店舗の中では前年同月を上回っている店舗が先月の25%に対し今月は43%と、良いところと出遅れているところがまちまちになっている。昨年は大型ショッピングモールオープンの影響で実績が大きく低下しているため、そこから若干戻している状況であり、しばらくは様子を見ないと景気動向は分らない。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・近隣で競合するスーパーが閉店したため、来客数が110%と増加している。特にデイリー、豆腐、牛乳、一般食品全般の動きが良くなっている。ただ年明けにディスカウントストアが近隣に開店予定のため、集客合戦が予想される。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・ハレの日の購入単価が昨年より上昇している。
		スーパー(販売 担当)	販売量の動き	・年末年始を控えて必要な物を買そろえたり新たに買替えたりする動きが好調に推移している。この点は販売点数の増加にも反映されており、直近の景気は比較的良好。
		コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・売上が伸びる土日が天候に恵まれており、来客数が増えて食品関係の動きが非常に良い。
		コンビニ(支店 長)	来客数の動き	・前年同月比で来客数が増加している。
		家電量販店(店 長)	単価の動き	・4Kテレビやドラム式洗濯機の売上比率が上昇している。
		家電量販店(販 売担当)	来客数の動き	・年末、ボーナス時期のため来客数の動きが良い。
		家電量販店(企 画担当)	販売量の動き	・来客数はほぼ横ばいながらも販売量が増えている。
		乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・来場者数が前年を超えており、平日が前年比115%、土日が同125%で推移している。サービス利用客が多く、店舗が非常ににぎわっている。
		乗用車販売店 (総務担当)	お客様の様子	・購入意欲はそれほど高くないが、下見に来る客が増えている。
		その他小売 [ショッピング センター](所 長)	来客数の動き	・昨年12月はじめに大型ショッピングモールがオープンし、その月は来客数に約10%の落ち込みがあったが、今年は約10%伸びており客が戻ってきている。
		その他小売 [ショッピング センター](運 営担当)	来客数の動き	・施設への来客数は若干ではあるが増加してきている。ただ売上が数字的についてきていない状況であり、年末に向けて客の購買意欲は増加しているが、劇的に良くなる状況ではない。
		高級レストラン (宴会サービス 担当)	来客数の動き	・週末の個人利用や平日の会社利用とも前年より良い状況である。
		一般レストラン (店長)	お客様の様子	・客の来店頻度が増加しており、財布のひもが以前に比べて緩んでいる。予約客も前年同月に比べて増えており、企業の予約、個人の予約ともに増加している。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・忘年会シーズンに入り来客数などが昨年より増えている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー料金の値上げがあり、その分だけがプラスである。
通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・例年は年末に向けて新規加入件数が多くなるが、今年は例年より少ない実績となっている。		
通信会社(工事 担当)	お客様の様子	・客の様子が上向いている。		
テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・イルミネーションイベントを開催していることや、ほとんど雪などが降らなかったことなど、天候が良い日が多かったことも大きな要因となり、来客数の動きが良くなっている。		

	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・気温高く昨年よりもドライブ客が増えている。雪が降らないので昨年に比べて山陽側からの来客数が多い。
	ゴルフ場(営業担当)	単価の動き	・天候に左右される時期だが、来場者数の見込みは先月より良い。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・来客数が増え売上が伸びている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・戸建住宅の販売のみならず、リフォーム工事も受注が好調である。
変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・歳末売出しなどを行っているが、入出が昨年より少ない。商店街で主催した餅つきや餅花作り教室などの振る舞いイベントも参加者が少ない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・買い控えの客が目立つ。
	一般小売店 [靴](経営者)	販売量の動き	・人通りがなくなる時間が早まっている。デパートは閉店時間を通常より遅らせることがあるが、来客数は少なく販売量は伸びていない。
	一般小売店[食品](経営者)	販売量の動き	・販売量の動きに注目しているが、今月は年末商戦の月でありこれからが本番であるため、最終判断はそれが終了しなければ出せない状況である。
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・暖冬の影響でマフラー、手袋、ブーツなどの売上が思わしくない。お歳暮はほぼ前年並みであるが、店全体としては前年の売上をやや下回る見込みである。
	百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・12月に入っても全く降雪がなく最高気温も高いため、冬アイテムには大きなマイナス要因となっている。コート、手袋、ブーツ等はいずれも20~30%減での推移であり、これがファッション部門低迷の主要因となる。また歳暮やクリスマスのギフトも購買単価は低下してきている。
	百貨店(購買担当)	お客様の様子	・気温に左右される衣料品関係は高額なコートやジャケットの売上が悪い。寝具や食品関係は生活必需品なので前年より動きが良い。特に食品は高額ではあるが高品質な商品に動きが出ている。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・暖冬の影響で比較的利益率の高い防寒衣料や洋品の動きが悪く、逆に利益の少ない食品は好調に推移している。暖冬の影響はいかんともしがたく、客の購買動向が大きく変化している。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・美術品や時計など数百万円を超える商品に動きがあるため景気は上向いて見えるが、安心はできない。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・客単価に大きな変化はない。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数、客単価とも前年の101%で推移している。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・野菜が安くなって単価が低下しており、競合店との価格差がなくなっている。
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・来客数、単価とも平均すると昨年並みに推移している。
	スーパー(管理担当)	来客数の動き	・客数に若干の伸びはあるものの微増であり、状況的にはあまり変化は見られない。
	スーパー(販売担当)	お客様の様子	・12月初めに近隣にディスカウントショップが開店したので、土日はファミリー層の客がそちらに流れている。
	コンビニ(副地域ブロック長)	来客数の動き	・売上回復の流れが2か月継続している。
	乗用車販売店(統括)	販売量の動き	・12月の販売量は前年比95%と依然前年割れが続いている。
	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・イベントを開催しても来客数が上向きにならず、販売量も上昇しない。
	乗用車販売店(営業担当)	お客様の様子	・来客数が少ない。
	自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・前年同月比で販売量はほぼ同じであり、売上の回復はあまりない。
その他専門店 [和菓子](経営者)	販売量の動き	・例年と比べて大きな変化はない。	
その他専門店 [海産物](経営者)	単価の動き	・来客数は今一つだが買上単価が上昇している。お歳暮では松葉ガニが少なく高いため、一夜干しにシフトしている。	

一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・12月に入り本格的に外食も増えつつあるが、特に持ち帰り商品の需要が売上構成比を伸ばしている。客の年末年始の予約が増えつつあるため、良い方向に向かっている。	
一般レストラン (外食事業担当)	来客数の動き	・12月第一週は天候の影響で来客数が前年の91.4%であったが、翌週から忘年会を中心に回復傾向にある。宴会は好調で前年の132%であるが、一般客の減少が目立つ。特に休日の来客数が減少しており、ファミリー客の減少が目立っている。客単価は前年の105%を維持しているが、来客数が95%を下回る日が続くこともあり、外食離れが顕著である。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・12月は忘年会で少し良くなるが、昨年度より入客が少なくなっている。この業界は相変わらず厳しい状況にある。	
観光型ホテル (宿泊担当)	単価の動き	・客単価が全く上昇しない。	
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・全体では海外からの宿泊客が依然として好調だが、アジアからの客は個人が好調の一方で団体が減少している。またレストランの来客数は減少しており、特にランチ帯の減少が大きい。	
都市型ホテル (総支配人)	競争相手の様子	・現在客室改装による一部客室を売り止めしており、自社状況での判断が困難であるが、ホテル業界の状況には変化がない。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・好景気の企業もないが、不景気で大変困っている企業もない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・市街地の中心商店街を買いまわる人が少なく、その状況を市民も「さびれた」「今後どうなるのか」と心配している。	
タクシー運転手	来客数の動き	・12月は例年繁忙期であるが、今年は乗車率が悪い。	
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・ボーナス月の動きとしては期待値より低く、例年通りの動きである。	
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・入場者数や商品販売高が前年同月比で大きな変動がない。	
競艇場(職員)	販売量の動き	・売上、入場者数ともに横ばいである。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・ボーナスが増えた客からは景気の良い話を聞くが、そうでない客は消費を抑えている。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・来客数や問い合わせ数の上昇が見られず、停滞気味である。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・高額商品への関心が見受けられず、一般消費財の購入だけである。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・客から住宅耐震化改修工事などの相談はあるが、計画止まりで実際の工事施工までには至らない。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・個人住宅の引き合いが減ってきているが、その反面でリフォームの引き合いは変わらない。	
やや悪くなっている	商店街(理事)	来客数の動き	・暖冬の影響で冬物商品の動きが鈍い。
	商店街(代表者)	単価の動き	・12月に入り売上が低迷している。暖冬の影響もあるが、客は慎重かつより長く着られるもの、安いものを選択する。先行きが不安である。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・今月末が使用期限の市のプレミアム付商品券は商店街の各店の支払に多く使われたが、売上のかさ上げには至っていない。また商店街の来客数は多いものの、クリスマスセールや歳末セールの出足が鈍く、昨年度の売上を確保するのが厳しい状況である。
	一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・前年比で販売量が低下してきており、地元の景気は徐々に落ち込む状況が続いている。
	一般小売店[紙類] (経営者)	来客数の動き	・観光客の動きが悪い。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・衣料品ではミセスゾーンで売上が悪い状況が数か月続いており、気温が高いためコート類が売れず、客単価が大きく低下している。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・暖冬の影響によりコートやダウンなどの高額防寒衣料が総じて苦戦している、今すぐ必要でないものは購入されない傾向が続いている。1月に入り値下げになると商品に動きが出てくる見込みだが、厳しい12月商戦となりそうである。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・12月には食品が前年を超える水準で推移しているものの、防寒衣料や雑貨は全く動かず、特にコートや手袋が悪い。

	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で冬商材のおでんや鍋関連商品が売れない。競合店との戦いもあるので収益が非常に厳しい。	
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・既存店の来客数と買上点数は前年を上回っているが、低価格志向により1品単価が前年を下回っている。	
	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・暖冬のため季節物の売上が伸びない。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・客に冬支度をする様子はなく、全体的に販売量は減少している。	
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・暖冬で暖房器具が売れない。	
	住関連専門店（営業担当）	単価の動き	・土曜日や祝祭日の来客数が減少しており、客単価も低下している。	
	その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・年末売出が昨年に比べて低調で、特に高額品の販売が振るわない。客は必要な物しか買わないという傾向が強くなっている。	
	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・暖冬で冬物商品の動きが悪い。春物の取扱を聞く客がおり、客の気持ちはすでに春に向かっている。	
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・冬になり高速道路の交通量が減っている。	
	都市型ホテル（企画担当）	お客様の様子	・閑散期であるが前年同時期に比べてホテル全体が悪い状況にあり、昨年の大型ショッピングモールの開業景気の反動が表れている。ただ年末年始の個人商品などの売行きは良く、ガソリン価格の下落や企業の賞与アップなどが影響している。	
	旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・国内旅行は堅調で順調に推移しているが、海外旅行の落ち込みが激しい。通常であれば海外旅行の不足分を国内旅行が補うが、そこまで国内旅行の増加がないため厳しい状況になっている。	
	通信会社（広報担当）	来客数の動き	・商戦期ではあるが来客数は増えていない。	
	悪くなっている	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・客に買い控えの傾向が強く、年末商戦の勢いが全く感じられない。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産量は好調である。
(中国)	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・11月と8月を比較すると、水揚げ数量は267tの増加、水揚げ金額は1億1,700万円の増加である。増加理由は沖合底引き網漁、大中型巻き網漁の増加である。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内経済や為替相場に比較的安定感がある。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大口案件の生産着手に伴い作業量が多くなっている。鉄鋼向け生産も堅調である。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・自動車部品メーカーの受注は高水準を維持し、月1～2回の土曜出勤を含む残業対応で操業している。コスト削減効果もあり、利益は過去最高水準を確保している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末年始の販売促進強化で受注量が増加しており、良くなってきた。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・12月にメディアに取り上げられたことから、売上目標が達成できている。
		繊維工業（経営管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年より若干落ちているものの、ほとんど変化はない。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・輸入鋼材によって市況がかなり冷え込んでおり、各社とも安値でしか仕事が取れない状況である。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・夏に作成した予算に達していない受注量であり、新興国や中国の経済不振が影響している。小さい注文を積み上げて仕事量を確保している状況である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・中国経済の低迷を受け、受注先からの生産見通しが保守的となり、下請会社に少なからず影響が出ている。量を確保すれば採算割れとなるため、設備の充実を図りたいが、今後の見通しを考慮すると借り入れの利益償還ができるか否か、大変不安を感じている。
輸送用機械器具製造業（経営企画担当）		受注量や販売量の動き	・国内向け製品の受注は苦戦しているものの、輸出向け製品の受注が好調であり、前年度比で若干の受注量増加となっている。	

	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が予測されていた物件が順調に受注できるとともに、今後予測される物件に関しても、この先1年は現場配置技術者が不足するほどの状態が続く見通しである。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・海外要因で先行き不透明となってきた。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・ロット物や中小企業からの問い合わせがかなり増えている。県産物であるミカンや生かきの出荷が思わしくなく、全体としては横ばいである。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・知りうる範囲での荷動き量にあまり変化がない。	
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・流通業や小売業の客に現行の情報通信サービスや商品に対して低価格ニーズが高まっており、売上向上のためには至近の売上増加につながらない新しいソリューションの開発が必要となっている。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末需要拡大など販売実績向上はほぼ変動がない。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数にあまり変化がない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業関連業界は仕事がそこそこあるものの、土木関係は発注が減少してきている。また小売業では1人当たりの購入金額に増加する気配が見られない。全般的にすべての業種で今年前半は前期を上回る売上高が確保できているものの、後半になると前期を下回るどころが見受けられるようになっている。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦のなかで昨年より受注数量が減少している。	
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の当初の増産計画に比して、輸出向け生産量が伸びず受注量が下方修正となっている。	
	化学工業（総務担当）	それ以外	・原油価格の影響などで収益性は向上しているが、本質的に事業全般が成長しているわけではないので、先行きが不透明である。	
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・これまで比較的良かった事業領域の受注量が急に低下している。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて工作機械業界からの受注が30%減少しており、中国向け案件や国内の補助金関連の設備投資が一段落したことが影響している。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・海外への販売は好調に推移しているが、大半は国内向けであり、大幅な減産が予定され、非常に苦しい経営状態が予測されている。その状況では商品の値上げも難しく、当面は赤字で推移する見込みである。	
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・荷動きが国内、国際ともに横ばい状態が続いている。燃料価格の下落は続いているが、前年との差を見るとこれまでほどの増益は見込めない状況となっている。	
	金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き	・地場の自動車販売会社の販売数量は前年同月比で3～4割減少しており、落ち込みが大きい。また暖冬の影響から冬物衣料品の販売も伸び悩んでいることもあり、身のまわりの景気は3か月前と比べてやや悪くなっている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている			
(中国)	やや良くなっている	求人情報誌制作会社（広告担当）	採用者数の動き	・2016年卒業生の採用戦線が終結したが、大手企業は内定が充足している一方で、中小企業は大手の内定出しと並行して内定辞退が続出し、採用予定人数を下回ったまま終結している。業種別では小売、スーパーなどの流通業、人手不足が顕著な建築土木系も中小企業は苦戦を強いられている。2017年卒業生の採用予定数については「増やす」の割合が上昇しており、全体平均では15%が今年度より増やす方向にある。その要因としては「将来の経営業績の見通し」「従業員の年齢構成」が半数を占めている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求職者数も緩やかながら増加傾向にあり、企業の求人数もほぼ全業種にわたって増加している。

	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・新規求人数、月間有効求人数とも増加している。業種別では繁忙期を迎えている宿泊業、飲食業や専門職不足の医療福祉関連で増加している。月間有効求人倍率も1.54倍で2か月連続して1.5倍を超えている。このうち正社員の有効求人倍率は0.90倍で、こちらも2か月連続で0.9倍台を維持している。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・部門強化のため管理系の職種を増員するケースが増えてきている。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・求人が増え少し良くなっている状況である。ただ学生の就職もほぼ決まってきたので、せっかくの求人増が活かさないのが残念である。
変わらない	人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・引き続き幅広い業種で人手不足感が強い。そうした状況のなかでパートタイムや未経験者、高齢者の採用が進むなど、採用側の意識の変化が顕著になってきている。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・求職者数は前年比で大幅に増加しているが、ここ数か月は微増である。業界によって差はあるが、全体的に景気は上向いている。
	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求人企業数は増える傾向にあるが、求職者の希望条件と合わず採用まで至っていないケースが多い。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・周辺の好調な事業所は中核銀行の賃上げの動きを意識して、かなり賃上げを意識しているが、先行きが不透明のなかでなかなか踏み切れず、夏の一時金で対応しようとするケースが増えそうである。パートやアルバイトを求める動きは活発だが、人手不足の傾向にある。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は年末年始の仕分け作業員の大量求人があった運輸業や郵便業が前年同月比で8割増となったほか、医療福祉関係からも大幅な増員求人があったため、求人全体でも1割強の増加となっている。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・3か月前と比べて新規求人数、新規求職者数ともに微減であり、大きな動きはない。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・有効求人数は前年同月と比較して同水準である。また有効求職者数は減少傾向が続いており、有効求人倍率は高い水準で推移している。人手不足感は業種間で差はあるものの依然として強い。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-